

日本毛織（株）印南工場 環境保全対策実施報告書

1. 環境保全対策実施状況（平成24年度）

(1) 大気汚染防止対策

推進の内容	実施の成果
①ボイラ日常点検及び4ヶ月毎の定期点検・燃焼調整・排ガス分析を継続実施しています。燃料は都市ガスであり、SOxの排出はありません。またボイラ更新(H22年、H23年)に伴い、低NOxバーナーを採用しています。	排ガス分析結果から判断して良好な運転ができました。
②高効率変圧器及び省エネ型照明器具の導入を行いました。	平成23年度と比較してエネルギー原単位は1.9%減少し、CO2排出量は12.8%増加しました（原発→火力発電の影響）。電気が3.3%減少に対し、ガスが0.8%と微増でした。夏期電力不足に対応するため、一部の設備で電気→ガスのエネルギー転換を行った結果です。
③毎月1回各部門の課長、係長をメンバーとし、省エネ会議を開催しています。省エネ対策や啓蒙活動を推進しました。	

(2) 水質汚濁防止対策

推進の内容	実施の成果
①排水処理装置の日常点検、定期点検及び測定機器の定期保守を実施しました	排水処理装置の安定した運転及び排水汚泥の脱水機更新および移送配管を更新する等、漏洩防止対策を実施しました。
②排水の漏洩防止対策を推進しました。	

(3) 騒音、振動防止対策

推進の内容	実施の成果
①協定測定点以外に工場独自で測定点を設定し騒音測定を行いました。	騒音測定結果から判断して良好な状態が維持できました。

(4) 産業廃棄物対策

推進の内容	実施の成果
①排水処理装置から発生する汚泥のセメント原料化は継続しておいます。また薬品を切り替え、排出汚泥を減量しました	汚泥発生量を6.5%削減できました。またリサイクル率は99%以上を維持できています。

②廃棄物の分別を徹底し、焼却・埋立処分している廃プラのリサイクル化を推進中です。	廃プラについて、埋立処分→サーマルリサイクル化→固形燃料化を推進中です。
--	--------------------------------------

(5)緑化対策

推進の内容	実施の成果
①樹木・緑地の剪定・除草、害虫駆除および渇水期の散水を行いました。	ニッケ機械製作所の移転工事がありましたが、緑地面積の確保と維持管理ができました。
②来客用駐車場のグラスパーキング(芝生)の除草等維持を継続しました。	緑地を維持でき、外部からの景観も向上しました。

(6)地域連絡会

推進の内容	実施の成果
①平成24年8月と平成25年2月の2回、当工場周辺の町内会長様に参加いただき、地域連絡会を行いました。	工場の実態を理解していただき、情報交換ができました。
②「トライやるウィーク」で中学生、「インターンシップ」で高校生、「教員の民間研修」で教職員を受け入れました。	地域社会への貢献活動ができました。

(7)その他

推進の内容	実施の成果
①環境マネジメントシステム (ISO14001) の外部審査 (更新審査) を受け、継続して運用しました。	環境保全活動を継続実施しています。また、従業員の環境に対する意識向上を図れました。

2. 協定値と実績値の比較

(1) 大気関係

(実績値：最大値または年間総排出量)

項 目		協 定 値	実 績 値
窒素酸化物排出量	(Nm ³ /H)	2.0	0.5
	(t/年)	11.6	3.0

(2) 水質関係

①汚濁負荷量

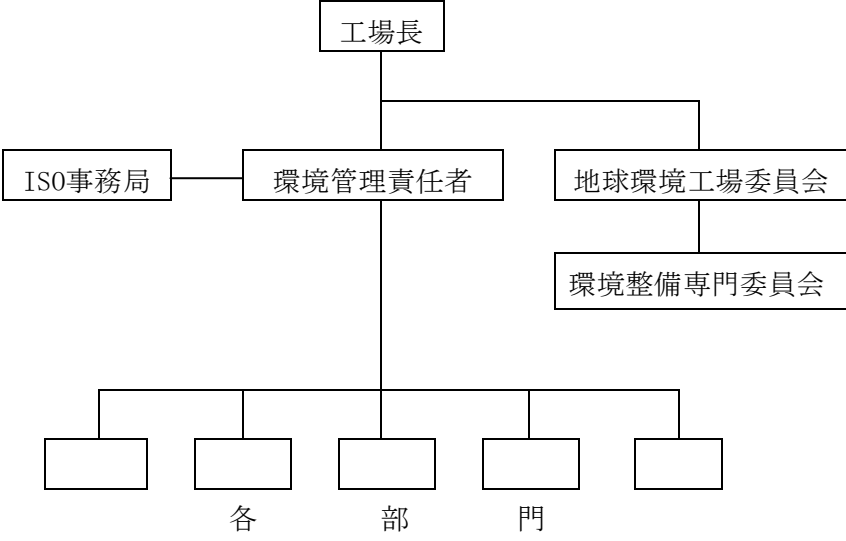
項 目		協 定 値	実 績 値
COD (kg/日)	通常	283	47
	最大	373	76
BOD (kg/日)	通常	452	21
	最大	596	36
S S (kg/日)	通常	283	19
	最大	373	50
ノルマルヘキサン抽出物質 (kg/日)	通常	147	8
	最大	194	24

② 許容限度

項	目	協 定 値	実績値
p H	最小～最大	5.8～8.6	6.6～7.6
C O D (mg/ℓ)	日間平均	25	12
	最 大	35	25
B O D (mg/ℓ)	日間平均	40	5
	最 大	55	16
S S (mg/ℓ)	日間平均	25	4
	最 大	50	25
ノルマルヘキサン抽出物質 (mg/ℓ)	日間平均	13	4
	最 大	20	14
六価クロム (mg/ℓ)	最 大	0.25	<0.02

3. 環境保全活動

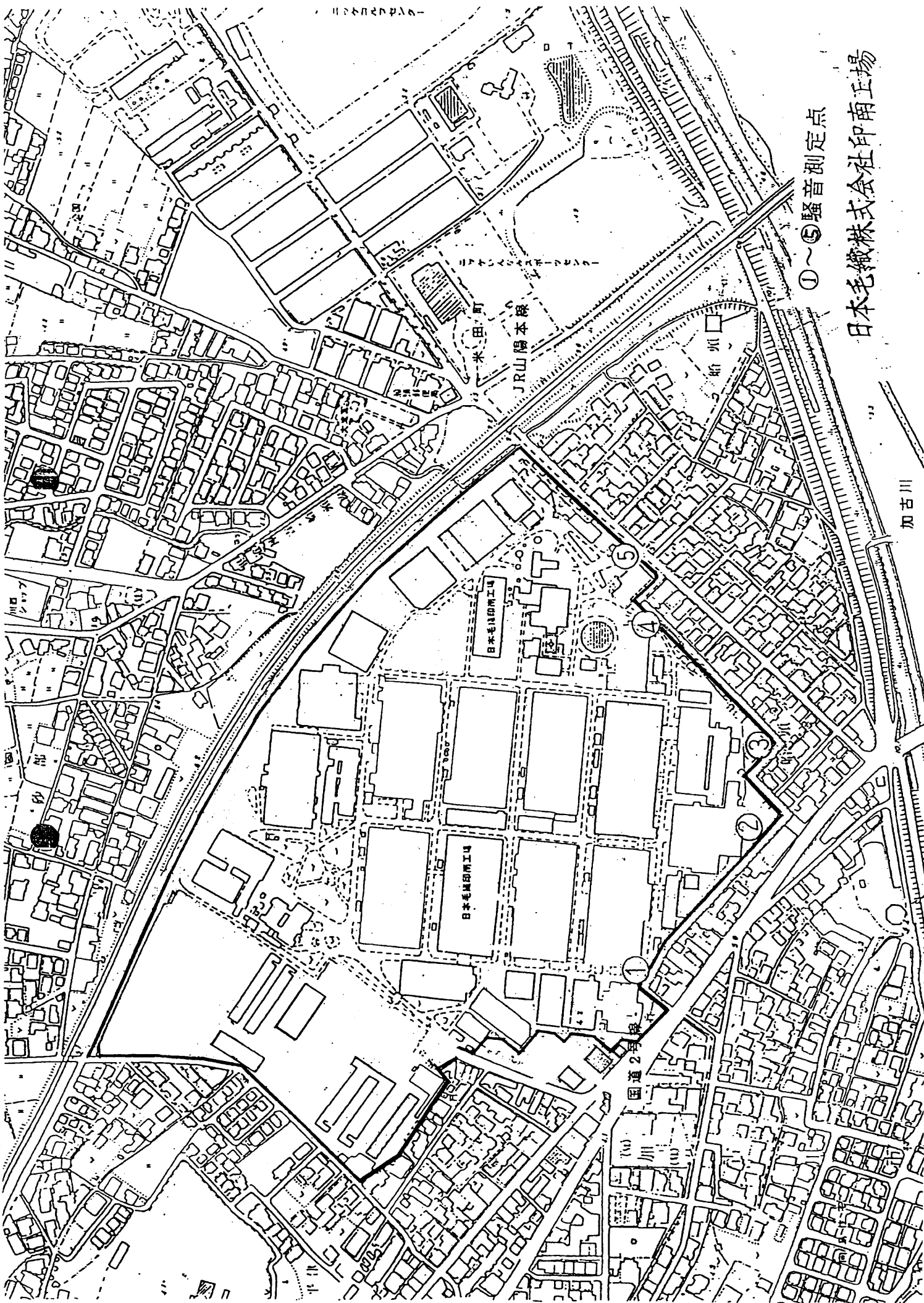
(1) 平成25年度基本方針

項目	内容
基本方針	当社は、『人と地球に「やさしく、あったかい」企業グループとして、わたしたちは情熱と誇りをもってチャレンジして行きます』を経営理念としており、環境への配慮と高い企業倫理により社会から信頼される企業グループを指向します。
組織体制	 <pre> graph TD A[工場長] --- B[ISO事務局] A --- C[環境管理責任者] A --- D[地球環境工場委員会] C --- E[環境整備専門委員会] C --- F[各部門] </pre>

(2) 平成25年度環境保全活動計画

環境保全活動	目標	目標達成のための計画、方策
自動車公害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・低公害車の採用 ・アイドリングストップ運動の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ①社有車更新の際は、低公害者を選択 ②従業員、運送業者に対して、アイドリングストップのPRを継続
化学物質対策	<ul style="list-style-type: none"> ・化学物質漏洩の未然防止 ・化学物質使用量の削減 	<ul style="list-style-type: none"> ①化学物質の保管・在庫管理の適正化 ②施設の維持管理 ③微量PCB含有機器の適正保管と保管・処分状況の報告 ④電気設備の微量PCB含有分析 ⑤PRTR法に基づく化学物質の排出量、移動量の把握の報告

エネルギー対策 (地球温暖化防止 対策)	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー原単位を2012年度比1%削減 ・CO2排出量を2012年度比1%削減 	<ol style="list-style-type: none"> ①高効率エアコンプレッサーへの更新 ②エアコン更新と温度設定の管理 ③高効率変圧器への更新 ④ポンプ・ファンのインバータ制御化 ⑤LED照明への取替 ⑥スチームトラップの点検整備 ⑦エアー漏れ点検と迅速な修理対応
廃棄物対策	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物排出量を2012年度比1%削減 ・リサイクル率を99%維持 	<ol style="list-style-type: none"> ①排水処理汚泥のセメント原料化維持と排出汚泥の10%減量 ②廃棄物分別の徹底とリサイクルの高位化 ③事務作業のペーパーレス化推進 ④電子マニフェストの推進
不法投棄防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄の撲滅 	<ol style="list-style-type: none"> ①定期的に工場外周の巡回と清掃を行い投棄しにくい環境を維持
緑化対策	<ul style="list-style-type: none"> ・緑地、樹木の維持管理 	<ol style="list-style-type: none"> ①樹木の剪定、除草、害虫駆除の実施
グリーン購入	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン購入比率を89%以上にする 	<ol style="list-style-type: none"> ①事務用品、機器関係に対するグリーン購入推進 ②再生紙の利用と裏面の使用 ③非対象品から対象品への切替強化
ISO14001環境マネジメントシステム	<ul style="list-style-type: none"> ・環境マネジメントシステムの継続運用 	<ol style="list-style-type: none"> ①環境マネジメントシステムの外部審査を受け、継続運用します。
環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員、協力会社への省エネ・廃棄物・その他環境改善教育の実施 	<ol style="list-style-type: none"> ①教育訓練計画を立案・実行し、進捗管理を行います。
地域社会への参画	<p>地域住民や行政が行う環境保全活動に積極的に参加する</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①地域連絡会を毎年2回、開催します。 ②「トライやるウィーク」で中学生を受け入れます。 ③路上違反広告除去活動に参加します
環境コミュニケーション	<p>環境情報の公開に努める</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①ニッケグループ環境報告書の中で当工場の報告を行います。 (詳細版は当社ホームページに掲載)



①～⑤騒音測定点

日本毛織株式会社印南工場

加古川

JR山陽本線

米田町

船州

国道2号線

日本毛織印刷工場

日本毛織印刷工場

日本毛織印刷工場